

2022年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
2月1日	0		
2月2日	1		
2月3日	0		
2月4日	2		
2月5日	0		
2月6日	0		
2月7日	0		
2月8日	0		
2月9日	1		
2月10日	0		
2月11日	1		この程度の飛散でも敏感な方は、発症します。
2月12日	0		
2月13日	1		
2月14日	1		
2月15日	0		
2月16日	1		
2月17日	0		
2月18日	1		
2月19日	0		25日から気温が上がるため本格的な飛散開始が始まります。
2月20日	3		
2月21日	1		
2月22日	0		
2月23日	なし		強風のため測定不能
2月24日	1		
2月25日	0		
2月26日	1		最高気温が予測より上がらず飛散開始は少し遅れそうです。
2月27日	0		
2月28日	1		

2022年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個 / 14.4cm²で表示いたしますが（ひとつのスライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個 / cm²の表示になります。

2022年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
3月1日	1		
3月2日	1		本日から○個/cm ² 表示になります。
3月3日	0		
3月4日	0	0	
3月5日	6	6	飛散開始日 泉（加茂耳鼻科は3月2日）五橋（鈴木耳鼻科は3月1日）
3月6日	1	7	3月6日、7日は気温が下がるため一時的に飛散数が減ります。
3月7日	0	7	3月11日から気温が上がるため第1のピークになるでしょう。
3月8日	0	7	
3月9日	6	13	
3月10日	13	26	週末は気温が上がります。大量飛散に注意しましょう。
3月11日	47	73	金曜日は泉70個、五橋は81個でした。
3月12日	11	84	土曜日は気温が上がり風も強く、五橋は190個でした。
3月13日	18	102	
3月14日	13	115	未治療の患者さんは症状がかなり重症化しています。初期治療を行なっている方はまだかなり症状は落ち着いています。
3月15日	16	131	連日大量のスギ花粉が飛散しています。五橋261個、泉166個の大量飛散です。
3月16日	30	161	五橋194個、泉290個の大量飛散です。大学の屋上の飛散数は少なめですが仙台市内では日常生活に大きく支障を及ぼす大量飛散が続いています。
3月17日	測定なし	測定なし	昨夜の地震で山のスギの木から花粉がふるい落とされ今年最大の飛散となるでしょう。まだ全体の1/3～1/4しか飛散していないでしょう。
3月18日	3	167	
3月19日	22	189	
3月20日	11	200	週末は、気温が低く飛散が少なめです。
3月21日	2	202	
3月22日	1	203	みぞれ混じりの悪天候により飛散は少なくなりそうです。五橋は累積1500個を超えました。
3月23日	2	205	
3月24日	22	227	泉と五橋は共に1500個を超えました。22日のみぞれの影響で飛散は抑えられています。今後は気温の上昇と共に増え、あと4～5回はピークが続くでしょう。
3月25日	29	256	
3月26日	40	296	
3月27日	26	322	27日、28日が今年最大のピークになりました。やはり今年は飛散が例年より2～3週ほど遅れています。飛散数としてはまだ1/2程度でしょう。
3月28日	18	340	五橋と泉では27日と28日の二日間で1000個以上の大量飛散になりました。特に眼の症状が重症化するでしょう。
3月29日	12	352	3/27の分までしか大学のデータが届いておりません。大学の測定数が極端に少ないのですが、市中では大量に飛散しております。
3月30日	48	400	初期治療を行っていない新患の方は、かなり症状が重症化しています。最重症例にはゾレアが有効です。眼症状の緩和にはウエルウオッシュアイが効果的です。
3月31日	77	477	五橋では総飛散数が3500個を超えました。4月下旬までスギ花粉の飛散は続く見込みです。

2022年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個 / 14.4cm²で表示いたしますが（ひとつのスライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個 / cm²の表示になります。

2022年スギ花粉飛散数

期間	飛散数	累積花粉数	コメント
4月1日	36	513	最高気温の上昇に伴い泉では775個、五橋では1400個と4月としては観測史上最大の飛散となりました。
4月2日	126	639	4/1、4/2が今年の最大のピークになりました。昨年は平年より3週間早く、今年は2週間遅い最大のピークとなりました。
4月3日	14	653	
4月4日	1	654	雨が降り気温が低く4日、5日は飛散が少なくなる見込みです。
4月5日	65	719	
4月6日	26	745	大学屋上で飛散数は相変わらず少なめですが、累積スギ花粉飛散数は、泉で4000個、五橋で5000個を超えました。
4月7日	12	757	まもなく桜が開花となります。自然界の法則で桜が咲くとスギ花粉の飛散は減っていきます。今後は小さいピークを形成しながら、飛散は収束に向かうでしょう。
4月8日	11	768	
4月9日	8	775	スギ飛散数の減少に伴い症状も落ち着いてきました。ただしヒノキの飛散が始まりました。スギ+ヒノキが陽性の方はこれから連休まで症状が続くと思われます。
4月10日	7	782	
4月11日	6	788	五橋では総飛散数が5800個になりました。スギ花粉に飛散はあと2週間ほどでしょう。
4月12日	6	794	
4月13日	6	800	
4月14日	0	800	大学からの飛散数のデータが4月10日から届いておりません。五橋でも飛散数が100個以下となり平野の飛散は収束に向かっていきます。これからは高い山からのスギ花粉と平地のヒノキの花粉が増えてきそうです。
4月15日	3	803	
4月16日	6	806	
4月17日	2	808	桜が満開となりスギ花粉の飛散は急激に減ってきました。今後はゴールデンウィークに向けスギ花粉の飛散は終息に向かうでしょう。これに反しスギに比較し植林面積は少ないのですが、ヒノキ花粉は増加する予測です。西日本で記録的なヒノキの大量飛散が続いています。
4月18日	2	810	
4月19日	2	812	
4月20日	2	814	
4月21日	未測定		
4月22日	未測定		
4月23日	未測定		ヒノキ花粉飛散数がスギ花粉飛散を上回るようになってきました。宮城県でもヒノキ花粉の陽性者が増加しています。それに伴いヒノキ花粉による症状が長引き内服を希望する患者さんが受診しています。
4月24日	未測定		スギ花粉飛散が間もなく終了します。総飛散数は泉で5500個、五橋で6000個を上回り大量飛散の歳になりました。
4月25日			
4月26日			
4月27日			
4月28日			
4月29日			
4月30日			

2022年東北大学屋上で測定したスギ花粉日算数を提供いたします。

飛散開始日までは、何個 / 14.4cm²で表示いたしますが（ひとつのライドガラスに何個乗っているか）、2月後半の飛散開始日以後は何個 / cm²の表示になります。